

東工大留学フェア 2024
「東工大から世界へ～Create Your Future～」
Taki Plaza で開催！



東工大として、最後となる、東工大留学フェア「東工大から世界へ～Create Your Future～」を2024年4月24日Taki Plazaで開催しました。昨年度からブース数も増え、東工大および外部の留学プログラムだけでなく、留学や国際交流を促進する学生団体が15のブースを出展しました。

今年度は入学3週間後の開催となったため、学士・修士とも新入生の来場が目立ち、最終的には300名を超える来場者がありました。

スタッフと留学経験者による留学個別相談会

12時半に開場すると、タキプラザ B1 階の受付でパンフレットを受け取った多くの学生たちが B2 階の会場へ降り、留学プログラム診断ツールで自分にあった留学プログラムを探しながら各ブースへ向かいました。



アジアに関心がある学生たちが足を運んだアジアブース
(キャンパスアジア・プラス (左)、TAIST (中)、ASPIRE/IDEA/AEARU (右))



特に新入生の人気が高かった超短期プログラム (左)、短期プログラム (右)



長期の留学ブースでは高学年の相談が目立った
工/物質理工/環境・社会学院国際交流プログラム (左) と派遣交換留学プログラム (右)



複数の学位を目指すダブル・ディグリープログラム（左）、欧州での国際インターンシッププログラムのブルカヌス（中）、留学中の就活に関する相談に応じる留学と就活（右）

各ブースでは、実際にそのプログラムに参加した学生がプログラム担当者とともに来場学生の質問に答え、短期プログラムから、長期のプログラム、就活や海外インターンシップに関することなど、留学するにあたり在学生在が気になることを文字で情報収集するのではなく、経験者やプログラム担当者からじっくり直接話を聞くことで、それぞれが思い描く東工大での学生生活実現に向けて、新たな目標を持つ機会になりました。

海外に行くだけが国際経験ではない！？学生団体も活動を紹介

今年の留学フェアには、「留学促進団体 FLAP」、「国際交流学生会 SAGE」、「留学生会 TISA」、「理工系学生のための国際インターンシップ IAESTE」の4つの学生団体が参加しました。

「留学促進団体 FLAP」は留学経験を持つメンバーが中心となり、東工大の留学プログラムについて紹介するとともに、自身の留学経験について話し、来場者の留学に関する不安や疑問に答えていました。



「国際交流学生会 SAGE」と「留学生会 TISA」は学内でできる国際交流をテーマに、留学生とゲームをして楽しく国際交流を体験する場を企画しました。

「理工系学生のための国際インターンシップ IAESTE」では、国際インターンシップの特長や応募スケジュールを説明するだけでなく、欧州からの日本にくる派遣生をサポートする、学生委員としての活動も紹介しました。



「海外の大学院進学も視野にいれてみませんか？」 — 坂本啓教授

Taki Plaza B1 階のグローバルラウンジでは、海外の大学院進学について、船井情報科学振興財団の奨学金事業選考委員も務める工学院機械系の坂本啓教授による講演会が行われました。講演会は、前半では坂本先生自身が海外の大学院を目指すことになったきっかけや、海外の大学院での生活の様子、アメリカで博士課程を取得することについて、後半では参加学生からの Q&A セッションで進りました。Q&A セッションでは、海外の大学院進学についての心構えや準備、実際に出願するために必要なこと、といった実践的な質問から、研究分野との関わり、卒業後のキャリアについて、など、学位取得後の先を見据えた内容にいたるまで、次々と途切れることなく質問が続きました。講演会終了後も質問をしたい学生が列を作り、参加学生の未来への情熱が伝わる企画となりました。

東工大に在籍する間に、短期・長期関わらず留学を経験すると海外大学院進学を視野に入れてみたいとか、海外での研究に本腰を入れたいと感じる学生が多い中、情報を得るのがなかなか難しいという声を聞くことが多いため本イベントを企画しましたが、コロナ前と比べると海外の大学院進学が当たり前の選択肢となりつつある様子が垣間見られました。



自身の留学経験を話す坂本教授（左）と真剣に話を聞く学生たち（右）

留学プログラム診断ツール



東工大には短期から長期、授業履修からインターンに至るまで 30 を超える留学プログラムがあります。この数字、大学の規模からすると実は非常に多いことに気づくのではないのでしょうか？多数ある留学プログラムの中から自身のやりたいことや期間などを見つけるのは意外と大変です。どのプログラムが自分の希望に合うプログラムなの？そんな疑問に答える『留学プログラム診断ツール』を今回の留学フェアで導入しました。

このツールは現在情報理工学院に所属する学士 3 年生が構築しました。この診断ツールで該当項目を選択していくとおすすめプログラムを表示してくれます。

フェア当日は来場学生の道しるべとして、ツールを使いブースに足を運びました。

←の QR コードから、自分の希望に合うプログラムを確認してみませんか？

17 時半の閉場後も話しを聞きたい学生が引き続き滞在し、東工大生の留学への関心の高さが目立ったイベントとなりました。

留学生交流課は、新大学への統合後も大学の留学プログラムの魅力を伝えて、様々なテーマで留学イベントを開催し、より多くの学生の留学のサポートをしていきたいと思っています。



私たちがみなさんの留学をサポートします！